学校番号	３１５

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等	ステップアップ高校スポーツ（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといったかかわりを学び、自分に合ったスポーツライフを考えてみよう。

２　学習の到達目標

体育の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する脂質や能力を運動場面だけでなく日常生活生かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身につける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身につける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。

評価方法	授業態度の観察	レポート	技能テスト レポートなど	授業を通して説明・実践で確認
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	武道　球技(男子)　陸上　ダンス(女子)	柔道 バレーボール ハンドボール 陸上(跳) ダンス テニス	○	○	○	○	a:いかなる場面でも意欲的で公正な態度を取ることができ、学習内容を究める意志を持っている。 b: 武道、スポーツ、ダンスを生涯にわたり楽しむことができる姿勢を持ち、常に工夫を凝らしながら主体的に行動している。 c: ゲームを展開する上で必要な基礎的技能と、チームにおいて重要な協調性を持ち併せ、ゲームプラン・フォーメーションを話し合う等、課題解決に積極的な姿勢を示している。 d: 各スポーツのルールやマナーを熟知し、歴史や特性について理解を深める。	受講態度の観察 技能観察 レポート

	水泳	水泳（バタフライ）	○	○	○	○	a: 各種目の楽しさや、喜び達成感を感じる。 b: 日常的な水泳の技術を理解し生涯にわたり使えるものとしていく工夫をしている。 c: 効率的な泳ぎ方を理解し実践している。 d: スポーツの歴史や特性について理解を深める。ルールの理解。	受講態度の観察 技能観察 記録測定 レポート
2学期	武道 陸上 ライフスポーツ	柔道 陸上（投） 卓球 バドミントン ソフトボール アルティメット	○	○	○	○	a:いかなる場面でも意欲的で公正な態度を取ることができ、学習内容を究める意志を持っている。 b: 武道、スポーツ、ダンスを生涯にわたり楽しむことができる姿勢を持ち、常に工夫を凝らしながら主体的に行動している。 c: ゲームを展開する上で必要な基礎的技能と、チームにおいて重要な協調性を持ち併せ、ゲームプラン・フォーメーションを話し合う等、課題解決に積極的な姿勢を示している。 d: 各スポーツのルールやマナーを熟知し、歴史や特性について理解を深める。	受講態度の観察 技能観察 記録測定 レポート

3学期	武道 球技 ライフスポーツ	柔道 バレーボール 卓球 バドミントン ソフトボール アルティメット	○	○	○	○	a:いかなる場面でも意欲的で公正な態度を取ることができ、学習内容を究める意志を持っている。 b: 武道、スポーツ、ダンスを生涯にわたり楽しむことができる姿勢を持ち、常に工夫を凝らしながら主体的に行動している。 c: ゲームを展開する上で必要な基礎的技能と、チームにおいて重要な協調性を持ち併せ、ゲームプラン・フォーメーションを話し合う等、課題解決に積極的な姿勢を示している。 d: 各スポーツのルールやマナーを熟知し、歴史や特性について理解を深める。	受講態度の観察 技能観察 記録測定 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断
c:運動の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。